

世界が進むチカラになる。



グラフで見る東海経済 (2023年12月)

2023年12月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直している

【今月のポイント】

- 東海経済は、持ち直している
- 10月の生産は、前月比で2ヵ月連続でプラスとなり、均してみると持ち直している
- 11月の名目輸出は前年比で22ヵ月連続のプラス。自動車の輸出数量も前年比で2桁増が続いている
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、所得環境の改善により持ち直しの動きがみられる

項目	現状
景気全般	持ち直している
生産	持ち直している
輸出	持ち直している
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	例年並みの水準となっている

生産

10月の鉱工業生産(東海)は前月比+0.7%と2カ月連続で増加し、均してみると持ち直している。輸送機械は小幅減少したが、電子部品デバイス、生産用機械などが増加した。

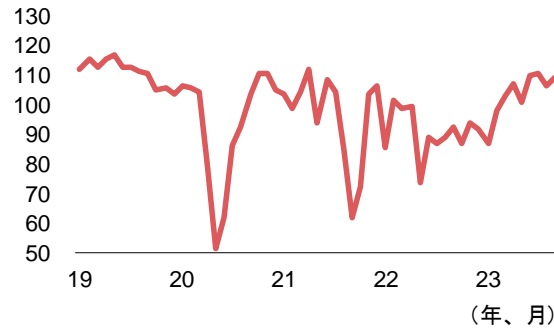
鉱工業生産指数

(2015年=100)



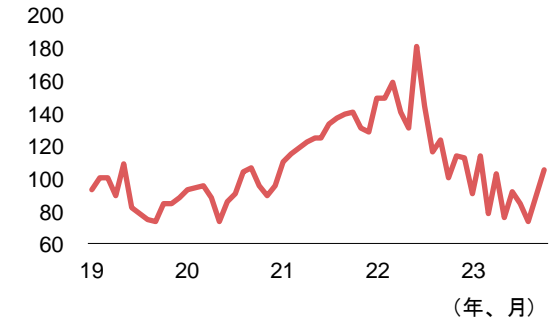
輸送機械

(2015年=100)



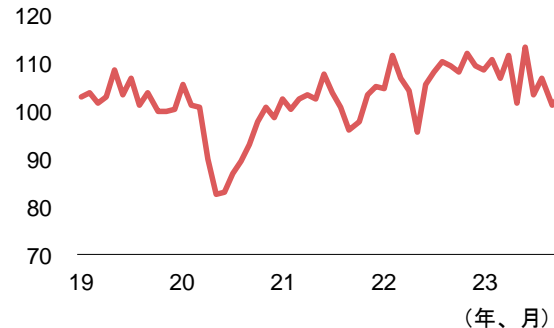
電子部品デバイス

(2015年=100)



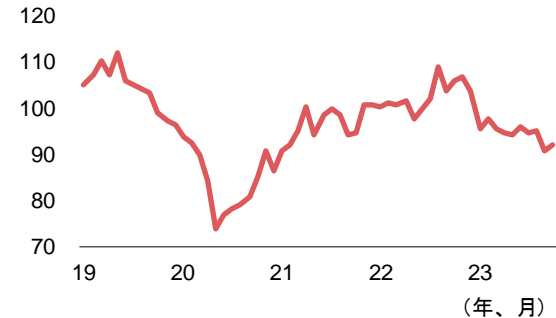
電気機械

(2015年=100)



汎用・生産用・業務用機械

(2015年=100)

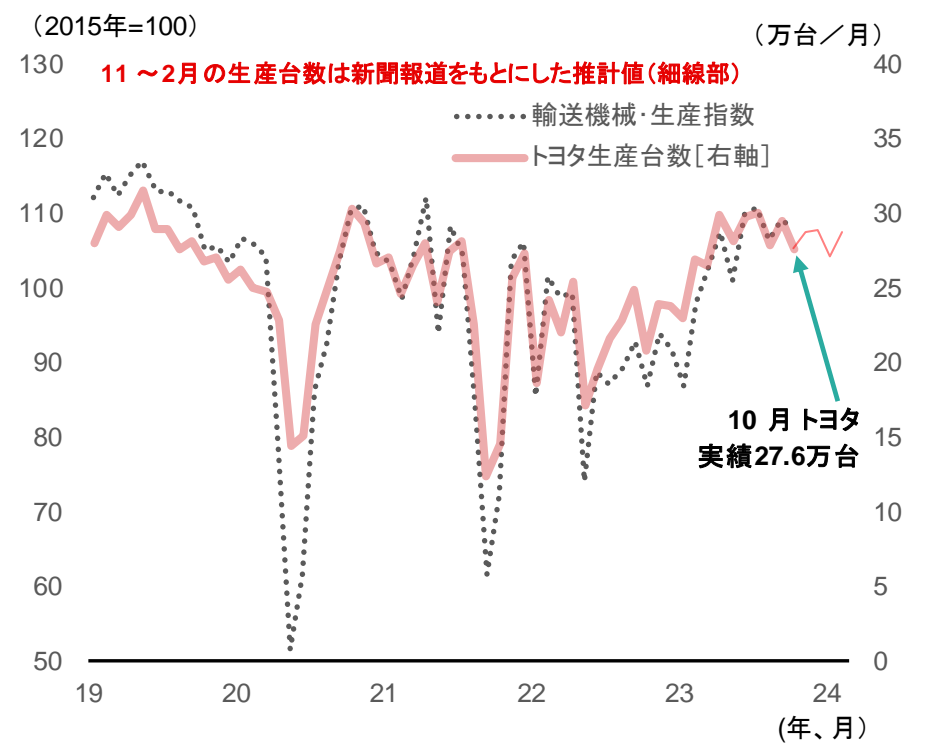


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ国内生産）

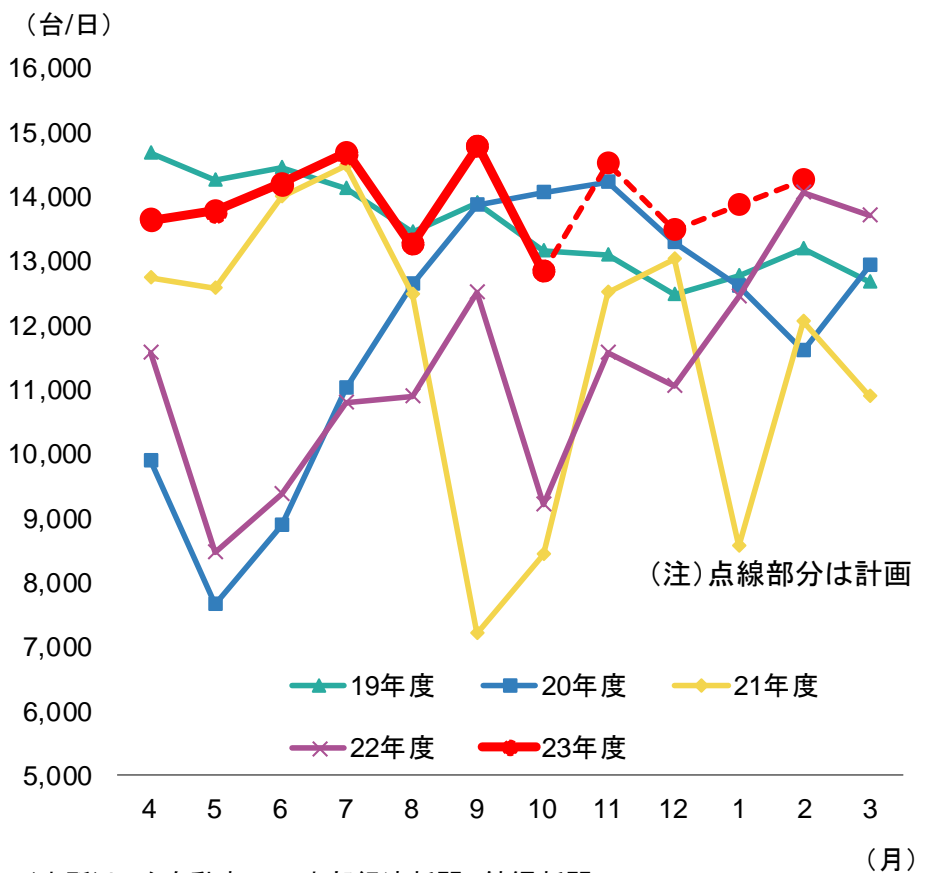
10月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は工場停止の影響により27.6万台と前月から低下した。先行きについては、挽回生産もあり、10月の落ち込みからは回復していくと見込まれる。

トヨタ月次生産台数(季節調整値)



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

トヨタ日当たり生産台数(原数値)



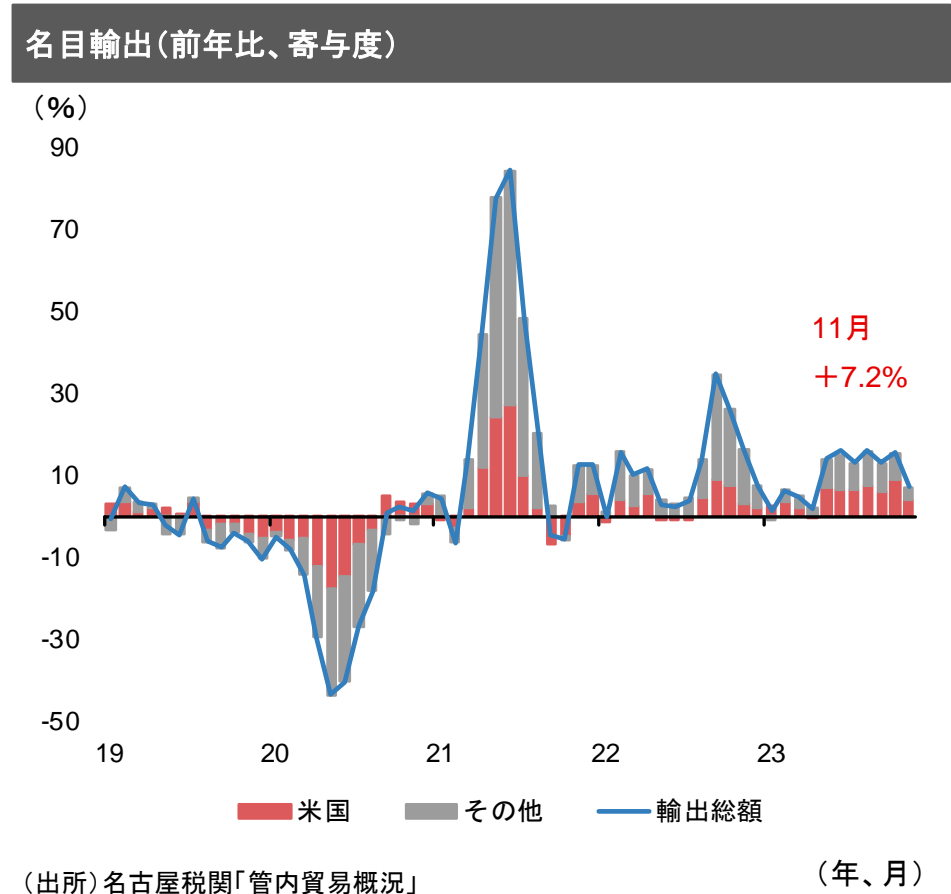
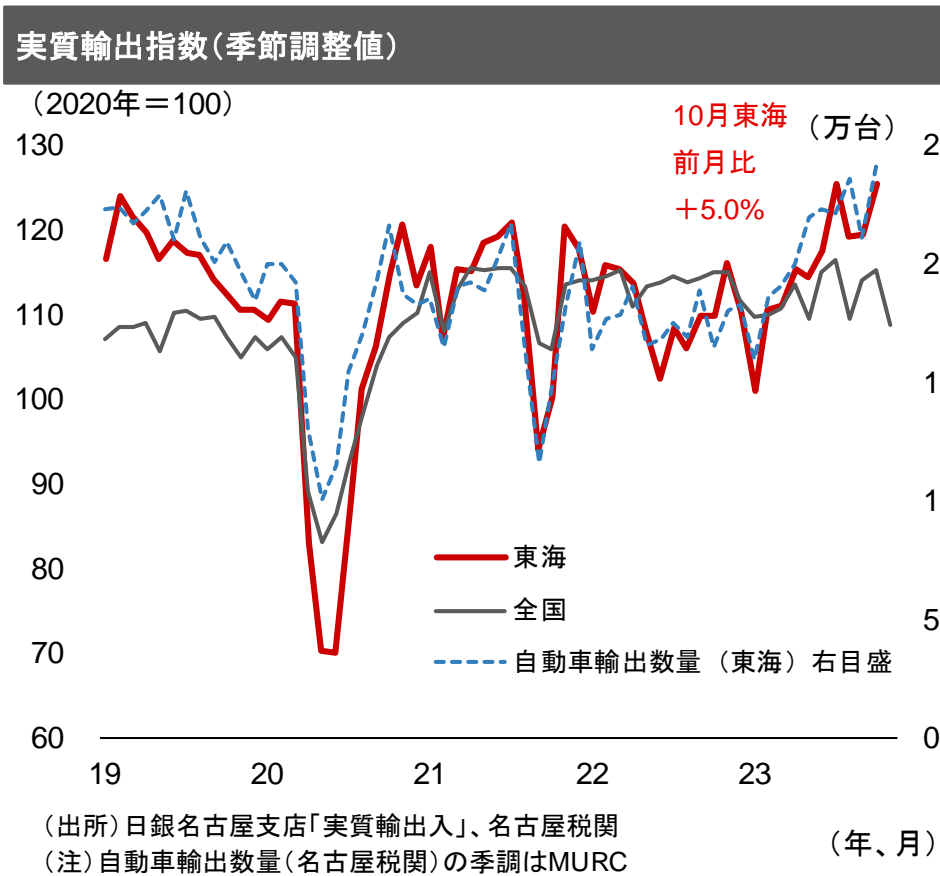
(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞



輸出

10月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比+5.0%と2カ月連続で上昇し持ち直している。

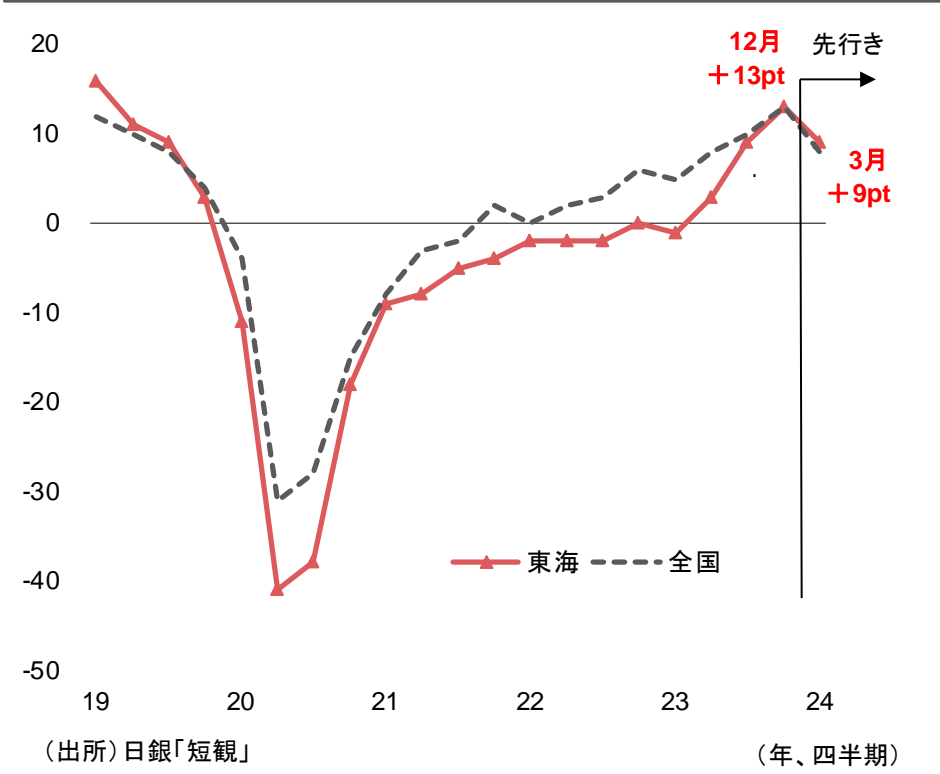
11月の名目輸出額は、前年比+7.2%と22カ月連続のプラスとなった。業種別では、自動車と同+21.6% (寄与度+7.1%pt)と増加、数量ベースでも同+13.9%と増加した。地域別ではアジア向けが減少、米国、EU、その他向けが増加した。



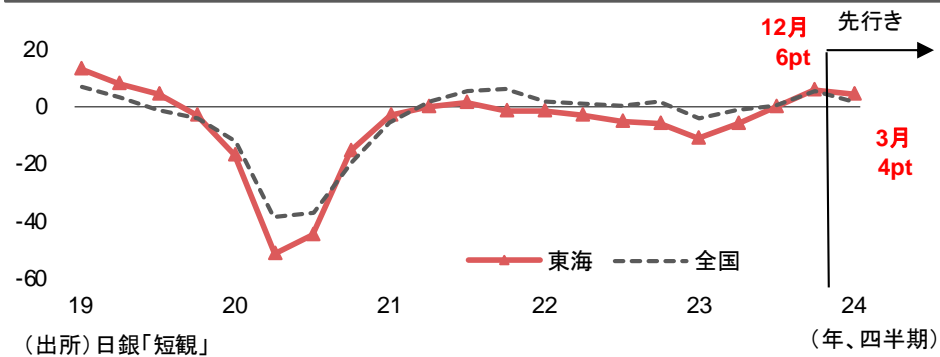
企業景況感(日銀短観)

日銀短観12月調査の業況判断DIは、全産業で+13ptと9月調査(+9pt)から改善した。製造業、非製造業ともに改善した。製造業では自動車が改善する一方、生産用機械が悪化した。非製造業では、宿泊・飲食サービスが大幅に改善する一方、対個人サービス、情報通信が「良い」超ながら悪化した。先行きについては、製造業、非製造共に悪化を見込んでいる。

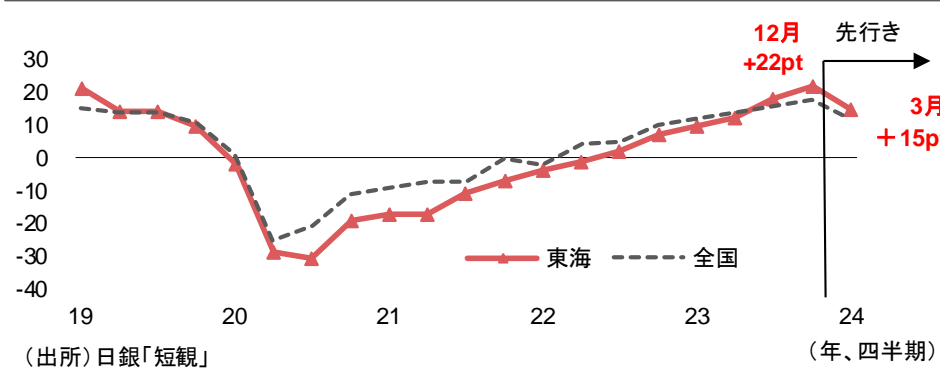
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



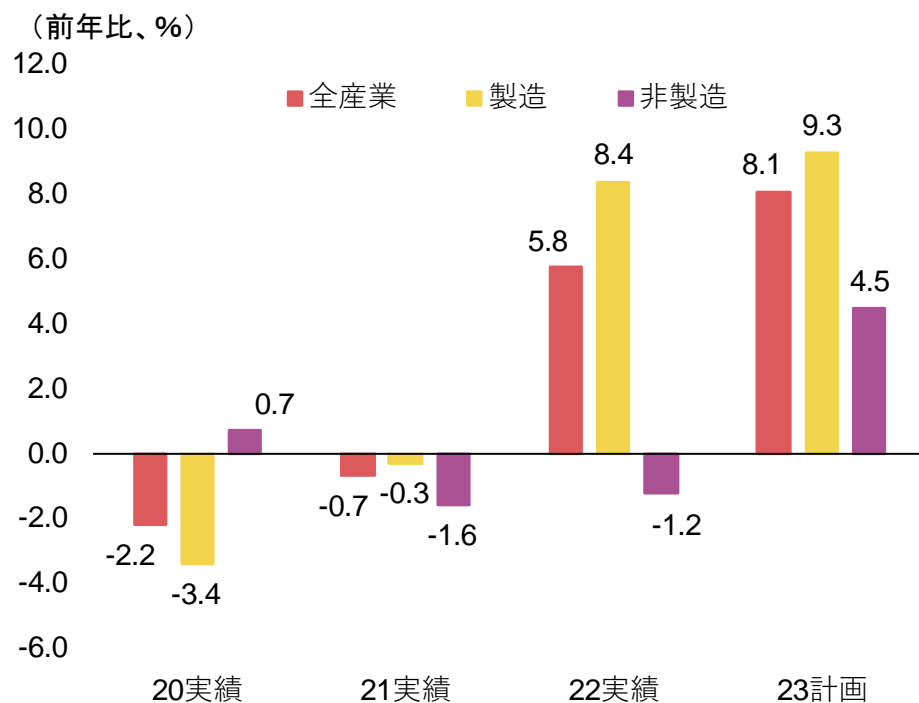
同 非製造業



設備投資(日銀短観)

日銀短観12月調査によると、23年度の設備投資計画は、全産業で+8.1%と前回調査から上方修正。製造業で前年比+9.3%と上方修正、非製造業は同+4.5%と下方修正となった。

設備投資 実績・計画



設備投資額(前年比%)

	22年度実績	23年度計画		
		今回調査	前回調査との差異	前回調査
全産業	5.8	8.1	(0.3)	7.8
製造業	8.4	9.3	(0.4)	8.9
非製造業	-1.2	4.5	(-0.1)	4.6

(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

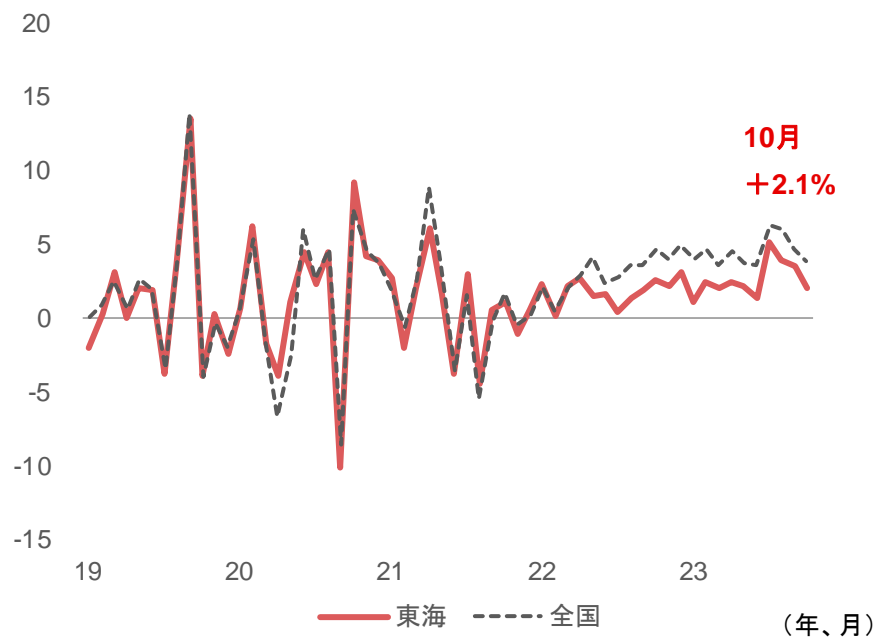
個人消費(小売売上、自動車販売)

10月の小売販売額は前年比+2.1%と23ヵ月連続でプラスとなった。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、所得環境の改善により持ち直しの動きが続くとみられる。

11月の新車販売は、前年比+11.8%と11ヵ月連続でプラスとなった。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

小売販売額(6業態計)

(前年比、%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

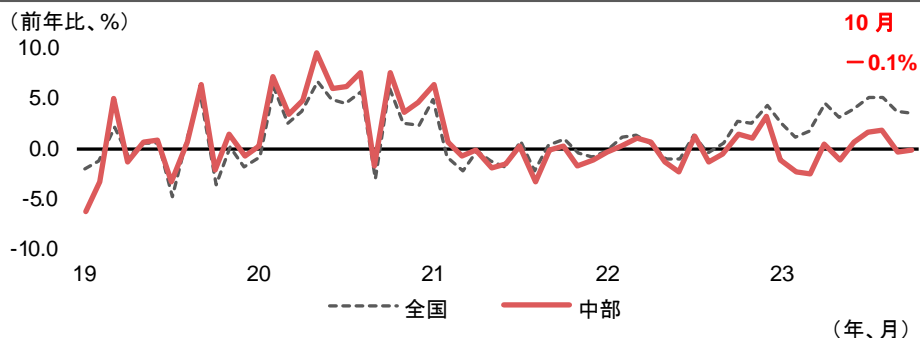
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

10月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)は前年比-0.1%と2ヵ月連続で減少した。

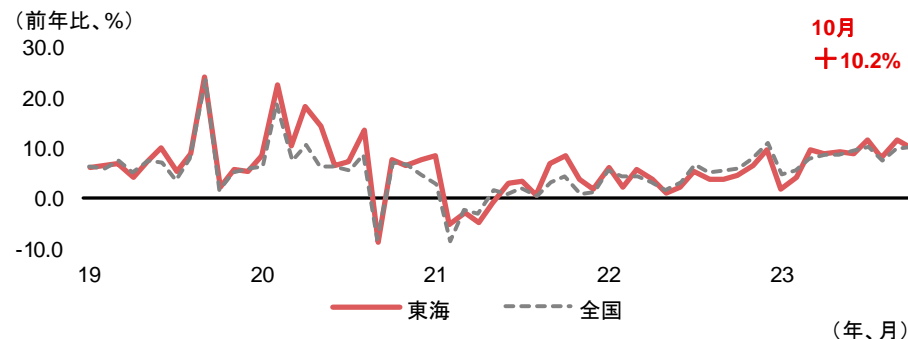
11月の百貨店売上(名古屋)は、高額品販売の好調やインバウンドの増加により前年比+6.3%と26ヵ月連続のプラスとなった。

スーパー販売額



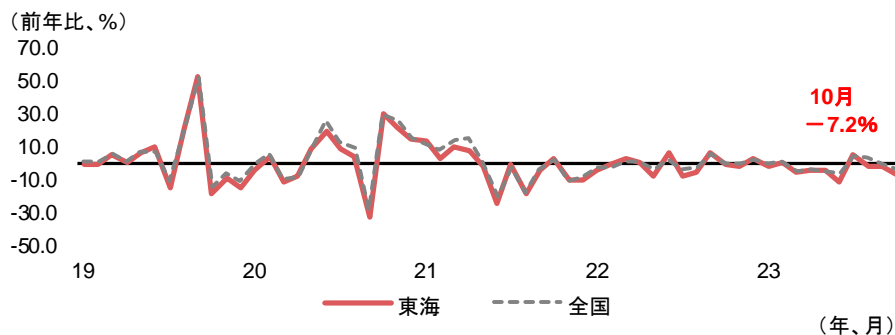
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

ドラッグストア販売額



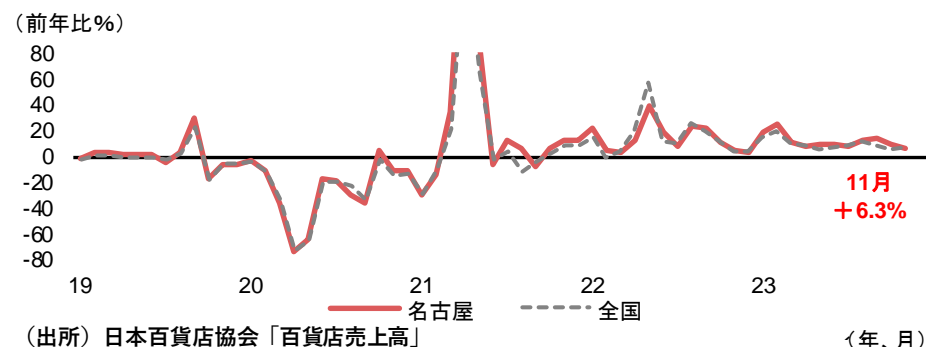
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型販売店販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

百貨店売上高



(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

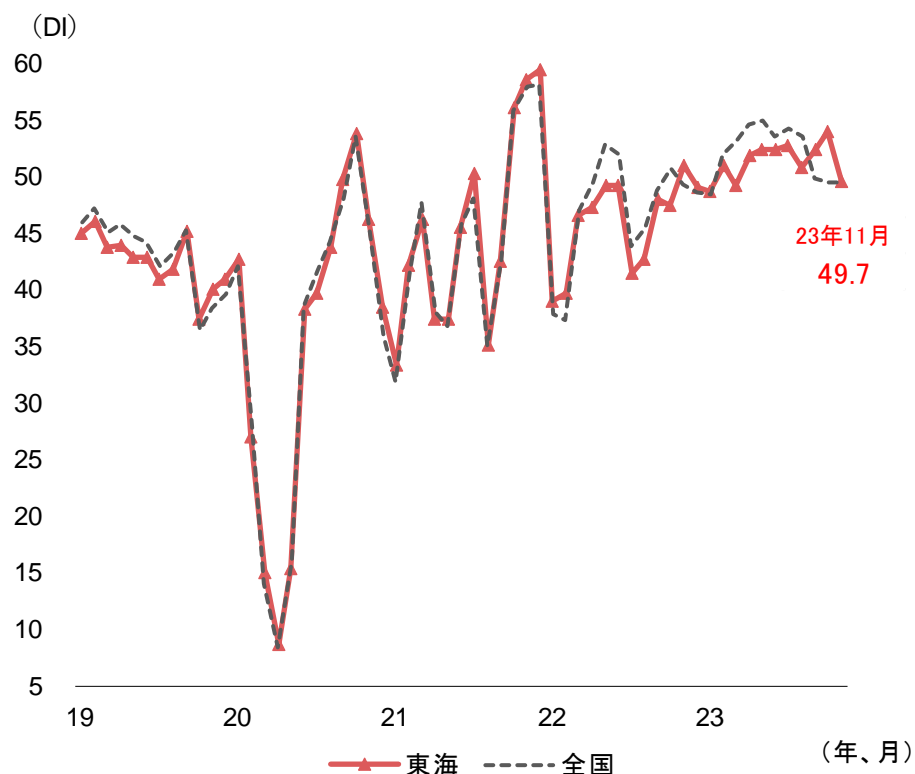
(注) 店舗調整後前年比

マインド・景況感

11月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-4.4ポイントの49.7と3カ月ぶりに低下し、横ばいを示す50を8カ月ぶりに下回った。物価上昇で売り上げが伸びているものの数量が減っているとの声や、物流の低迷を指摘するコメントがみられた。

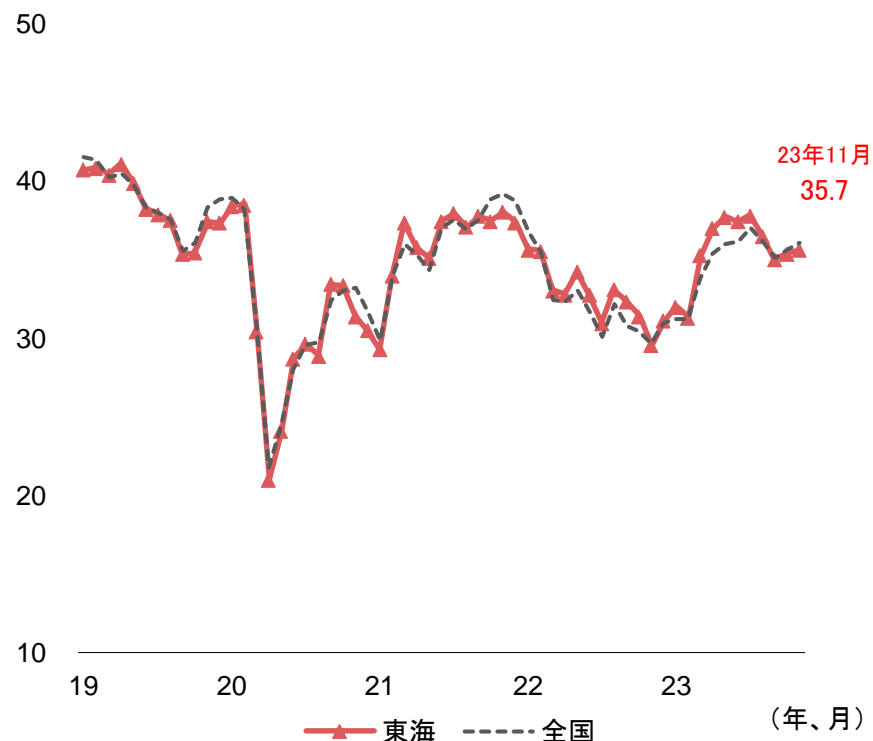
11月の消費者態度指数は、小幅ながら2カ月連続で上昇した。

景気ウォッチャー調査(現状判断)



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

消費者態度指数



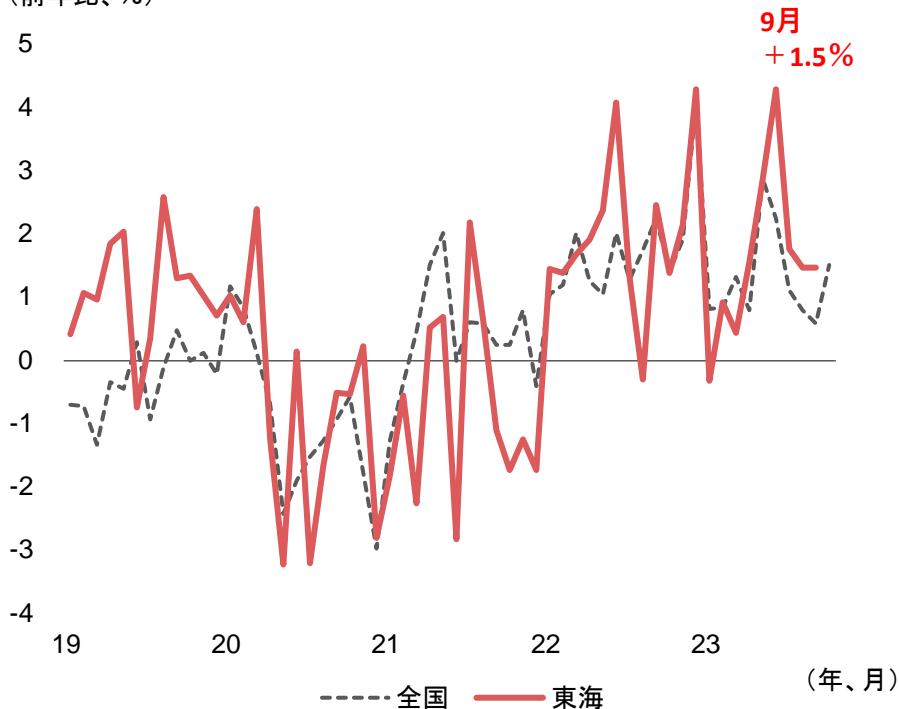
(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

9月の名目賃金は、前年比+1.5%と8ヵ月連続のプラスとなった。岐阜がマイナスとなったが、愛知、三重が増加した。10月の有効求人倍率は1.38とほぼ横ばい。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いている。23年7-9月期の就業者数は小幅減少したが失業者数も減少したため、失業率は1.8%と低下した。

名目賃金指数

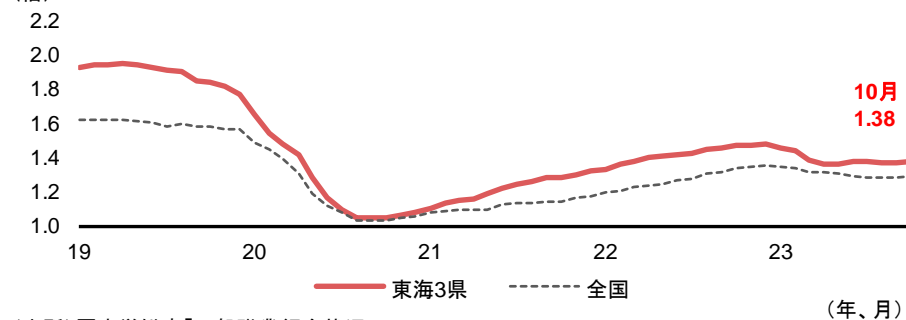
(前年比、%)



(出所)名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

有効求人倍率(季節調整値)

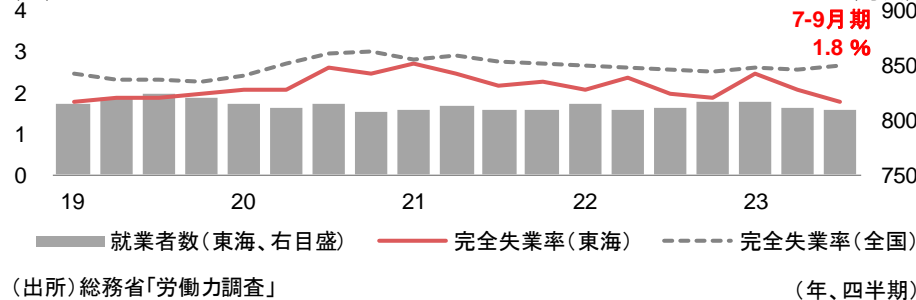
(倍)



(出所)厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

(%)

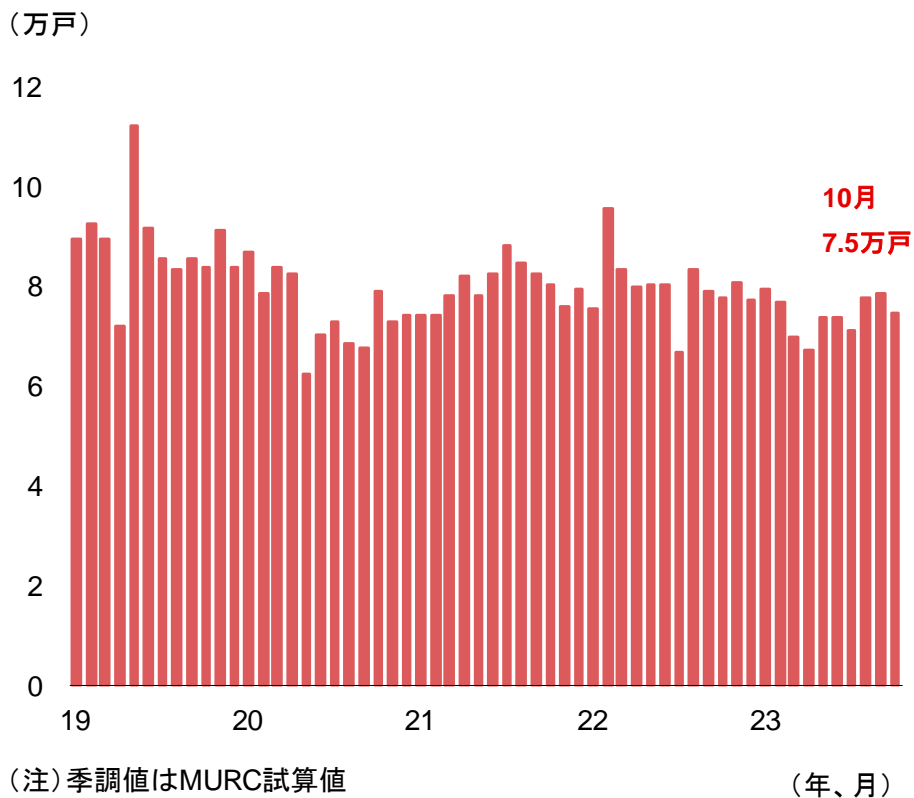


(出所)総務省「労働力調査」

住宅投資

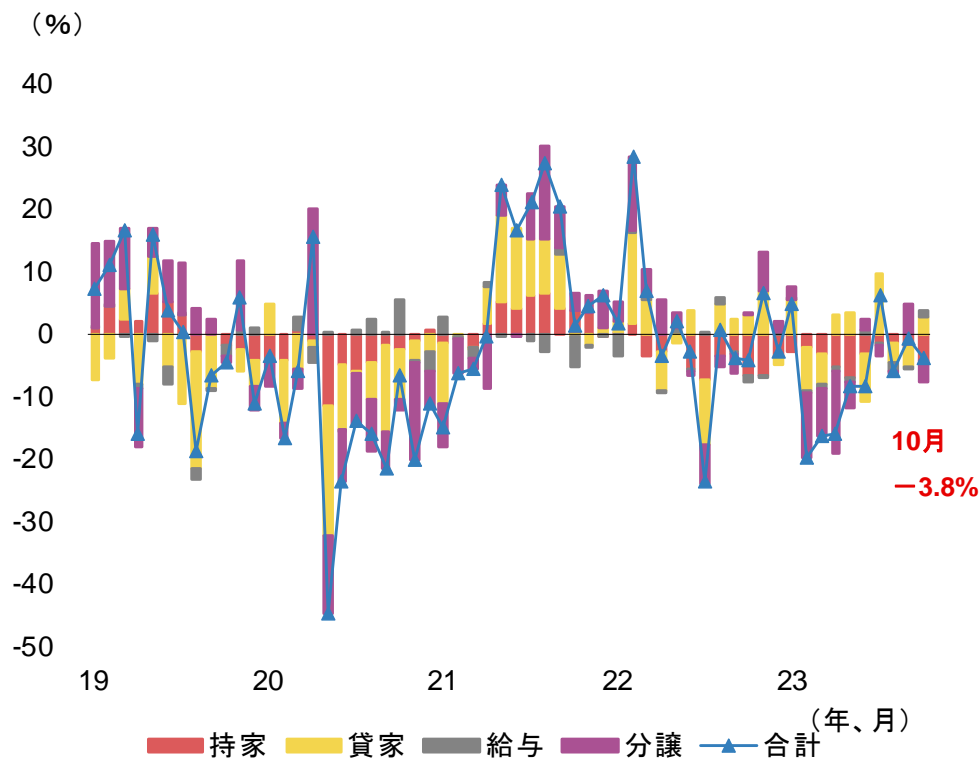
10月の住宅着工は、季調・年率で7.5万戸と3ヵ月ぶりに減少。前年比では3ヵ月連続で前年を下回り(前年比-3.8%)弱含んでいる。利用関係別では貸家は増加したが、持家、分譲が減少した。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

新設住宅着工戸数(前年比)

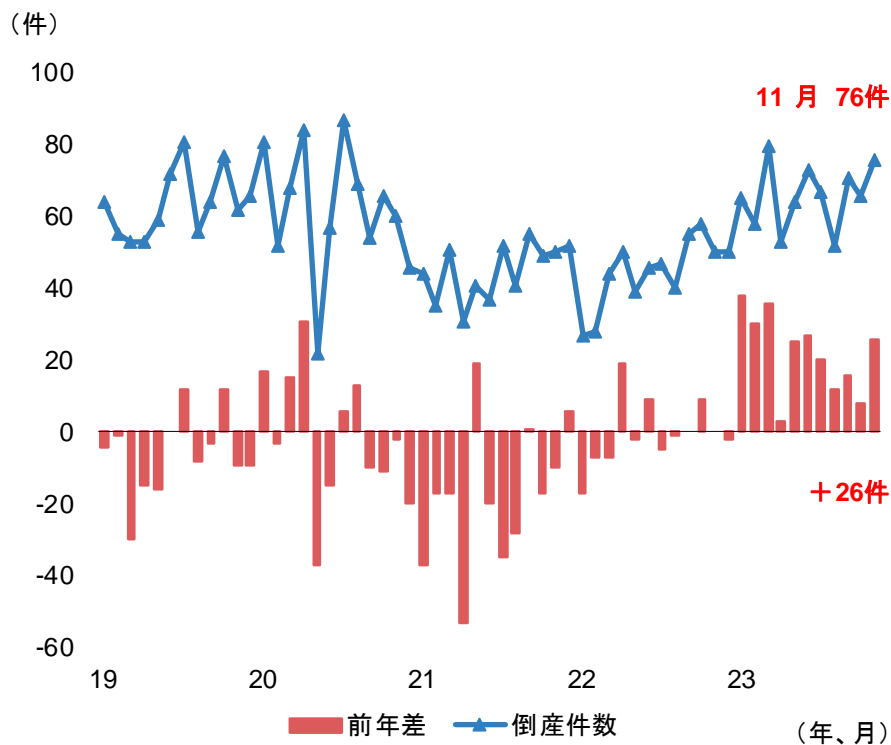


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

11月の倒産件数は前年差+26件の76件。コロナ前程度の水準となっている。

倒産件数

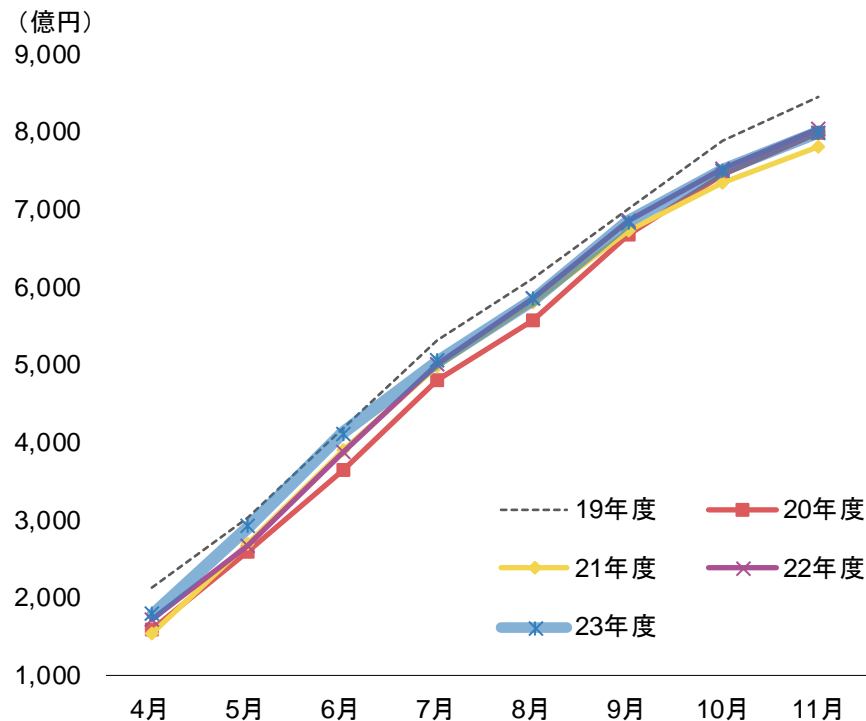


(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

11月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比-0.5%の8,000億円とほぼ例年並みの水準となっている。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー